

埼玉親善大使レポート

Septiembre de 2015

長山優子

自己紹介

この度、研修生としてメキシコに留学させていただきました、長山優子です。小学生から川越、坂戸で過ごし、大学ではスペイン語を専攻しておりました。卒業後は地元のブラジル料理店で働き、日本語をボランティアで教えたりしておりました。ここで話を聞くうちにラテンアメリカ諸国に興味を持ち、それがきっかけとなって今回の研修に参加しました。

スペインに数か月滞在したり、ポルトガル、中国、台湾を旅行したりしたことはあるのですが、初めてのアメリカ大陸。小学生の時、社会の教科書を読みながら、私には縁がないだろうと思っていた国に一年間滞在することになるなんて、未だに信じられない気持ちでいっぱいです。このご縁を大切に、いただいた貴重な一年間を大切に過ごしていきたいと思います。また、その中で見てきたもの、感じたことをこちらで報告できればと思います。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。



独立記念日間近の

CEPEにて

CEPE について

研修生の通っている CEPE は Centro de Español para Extranjeros (Spanish Center for Foreigners、外国人のためのスペイン語センター) の頭文字を取ったもので、日墨研修生の大半はここでスペイン語を学んでいます。人により、時間帯は異なりますが、二時間半のスペイン語クラスを一コマと、カルチャークラスを二コマ取れるようになっています。カルチャークラスは発音・作文・歴史・地理・サルサ・伝統舞踊など様々なクラスが揃っています。私はサルサと地理を履修しておりますが、皆少人数のクラスなので、他国の学生とも仲良くなれます。

UNAM とは

私たちの通っている CEPE は UNAM (Universidad Nacional Autónoma de México、メキシコ国立自治大学) の一角にあります。UNAM はラテンアメリカの中でも最大規模の

大学です。大学の敷地は Ciudad Universitaria（大学都市）と呼ばれており、当に一つの市がすっぽり入るほど広大な敷地を有しており、世界遺産にも登録されています。その為、学内には無料バスが走っており、また自転車の無料貸し出しも行われています。

そんな中でシンボリックな存在なのが、中央図書館の壁画ではないでしょうか。この大きな壁画はメキシコの歴史を端的に表しています。

まず、大学正門から見える西の壁には歓迎の意味を兼ねて大学の紋章が描かれています。



中央図書館西側

そして、北側の壁にはスペイン占領前のメキシコが描かれています。中央上部にはアステカ文明の雨の神であるトラロックが描かれています。トラロックは UNAM のあちこちで見ることが出来ます。左上には太陽、右上には月が描かれており、壁画に描かれている蛇は有名なケツァクコアトルというアステカ神話の神です。

一度見たら印象的な南側の壁には二つの天球を目とし図書館入口を口とした大きなトラロックの顔が描かれており、スペイン占領下のメキシコの良い面と悪い面がともに描かれています。

東側にはメキシコ革命時をモチーフに、中央には国章である大きな鷲が描かれています。

そして、驚くことに、これらの壁画はメキシコシティ内の色鮮やかな石を集めて作られており、画材を全く使うことなく描かれています。

他にも様々な壁画が学内のあちらこちらに描かれているので、メキシコに来た際にはぜひ一度訪れてみてください。



中央図書館南側、大きな目が印象的